

平成 26 年度の事業報告
平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人N P O サポート・しみず

1 事業の成果

- (1) 静岡市清水市民活動センター指定管理事業は、5か年の期間の内の2年目であった。協定書及び事業計画の内容をすべて実施し、併せて、いくつかの事業を追加実施した。会員も周年事業その他にボランティアとして協力した。事業を通じた支援の成果が、団体の成長として、目に見える形で出てきている。
- ①団体の資金獲得ともなる助成金獲得へのサポートを行った。
助成金講座や情報発信、声掛けを通じて、助成金を獲得したという団体がいくつかあった。申請書のサポートや推薦書等で、静岡県文化振興財団の地域文化活動奨励賞を2団体が受賞。
- ②平成23年、24年と全国に先駆けて「認定N P O 法人」講座を開催したが、参加した団体の中から、認定N P O 法人、仮認定N P O 法人となった団体や目指す団体がいくつも出てきた。
- ③利用団体アンケートで、「センターを利用することで、自団体に良い変化があった」と答えた団体が全体の58%。昨年より更に向上した。それぞれが具体例を書いてくれた。
- ④以上、団体へのサポートは、何か支援をしたから即成果が出るというものではない。団体の成長や発展には一定の時間がかかる。それぞれの団体が振り返って、成長できたという時に、センターのサポートが一定の役割を果たしているということが実感でき、これまでの事業運営に確信が持てた。
- ⑤相談事業やアンケートでニーズを把握して講座を企画した。特に解散講座は、実際に困っている団体のサポートとなった。スタッフも参加し、その後の相談に活かした。団体の成長ではないが、任意団体に戻すことで、活動は一層活発化している団体がある。
- (2) 中間支援組織や市民活動団体の人材育成のため、県受託事業として「防犯まちづくり専門講座中部地区業務委託」「平成26年度社会資本整備協働推進業務委託」(協働の底力事業)を実施するとともに、清水都心づくり研究会の総務的業務を受託。これらの事業を通じて、様々な団体と新たな関係を広げた。N P O 法人の会計に関連したサポートも行った。
- また、人材育成講座を団体主催で3回実施した。「団体のセルフチェック」「団体の資金を考えよう」の2回の講座は、担当者が今後センターで開催するための経験にもなった。更に、会員が自分の得意の分野で講師を担当する講座「楽しもう、せっけんライフ」を初めて開催した。会員一人一人の参加意識を高め、併せて、当団体の活動の分野を広げることにもなる。会員の多くが様々なスキルを持っている事から、今後もこのような講座を開催していきたい。
- また、地域の課題としての困窮者支援と、市民活動団体と他のセクターとの協働を推進するために「ふじのくにフードバンク」の設立に準備段階から関わり、その後にN P O 法人化でも役割を果たした。食品を困窮者支援等のN P O 法人に渡す役割や、フードドライブへの協力も行った。労働者福祉基金協会を始め、労働組合や生協など、これまでよりも広いセクターとの関係を広げることができた。
- (3) 会員とスタッフが共に、横浜市市民活動支援センターに視察に行った。今後のセンター運営に参考になる事業も多く、また、会員とスタッフの交流にも役立った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
①市民活動をサポートする事業	・市民活動へのサポートの事業を行う。			
①-1 清水市民活動センター指定管理事業	・清水市民活動センターの指定管理事業 ・徴収事務委託事業	(A)4月1日～翌3月31日 (B)清水市民活動センターほか (C)9人	(D)市民団体・NPO法人・一般市民 (E)16,600人	20,896
①-2 人材育成・研修事業	1.市民活動団体の人材育成講座 (センターとの共催を2回) 2.防犯まちづくり専門講座 3.協働の底力事業	(A)年に3回 (B)清水市民活動センター (C)3人 (A)年に3回 (B)清水市民活動センター (C)3人 (A)7月～3月末 (B)浜松市クリエートセンターほか (C)6人	(D)市民活動団体の代表や事務局、当団体の会員 (E)6人×3回 (D)一般市民 (E)60人 ⁶⁰⁵ (D)NPO法人、一般市民、行政職員 (E)延べ600人	3,030
②市民団体と他のセクターとの協働を推進する事業	・地域の課題解決のため、協働で実施する。 1.フードバンクふじのくにに参加 5月19日NPO法人設立総会 2.ふじのくに未来財団に参加 キックオフイベント等に参加	(A)4月1日～翌3月31日 (B)静岡県内 (C)数人 (A)11月26日 (B)静岡市内 (C)1人	(D)生活困窮者 (E)多数 (D)市民活動団体 (E)	
③-1 会員研修・交流事業	1.会員の研修 上記人材育成講座に会員・職員も参加 2.視察研修 2.相互の交流を行う 会員の活動経験を活かした交流事業をおこなう	2は(A)8月6日 (B)横浜市市民活動支援センターほか (C)13人 上記の視察の中で、交流	(D)会員及びスタッフ	
③-2 広報事業	・団体の広報事業 ホームページ ニュースレター発行	(A)4月1日～翌3月31日 (B) (C)3人	(D)一般市民 (E)多数	50